

# KTK ひゅうまん 京都

No. 545 2022年4月号

編集／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内  
編集発行責任者／池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P 1 左大文字 つどめ
- P 2 常任委員会から 池添 素
- P 3 相模原事件と優生思想 山上周一
- P 4 血の染みついたバトン 中村 暁
- P 5 人生の伴奏者 井上吉郎
- P 6 ジョニーの炸裂日記 ライスチョウジョナ
- P 7 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P 8 2+2=詩 富士一文
- P 9 障害のある人の権利を守る北障連から 濱中 博
- P 10 365歩のマーチ 安藤 史郎
- P 11 知っ得情報 松本 美津男
- P 12 2020年からのコロナ禍に学んだこと 大西里江

## 左大文字

「ケアラー支援条例をつろう！ネットワーク京都」という運動をスタートさせる旨は既に本欄でもお知らせしてきた。認知症など高齢分野はもちろんだが障害、難病、ひきこもりなど実に多様なケアラー組織のリーダー15人を共同代表とするネットワークがいよいよ船出する。プレスリリースが4月19日(火)に京都府記者室で予定され、ケアラーって誰のこと？ なぜ、条例なのか？ こうした問いに答えるキックオフイベントも5月22日(日)に開催される▲この活動は、これまで京都でケアにかかわる活動や経験を有している個人・団体の緩やかなネットワークだ。当面、①京都でのケアラー支援の条例化を目指して活動すること、②3年を目途とする期限付きの活動とすること、としている▲既に条例を制定する自治体は、埼玉県(20年3月施行、以下同)はじめ北海道栗山町(21年4月)、三重県名張市(21年6月)、岡山県総社市(21年9月)、茨城県(21年12月)、岡山県備前市(21年12月)、北海道浦河町(21年12月)、栃木県那須町(22年3月)、北海道(22年4月)の9自治体に上り、さらに数自治体が今年度中の制定を目指して準備中と聞く▲今度の京都からの発信は、条例のオリジナリティ以上に、市民主導での条例化運動というその策定のプロセスとスタイルに特段の有意がある。全国的にも注目を集めることは必須だ。請う！諸兄弟のご参加を！(連絡先: carerkyotoactionnet@gmail.com) つどめ



「春はどこから」  
渡辺あふる

# 常任委員会から

## 〈障全協の総会〉

ウクライナでのロシアの蛮行  
に対しての戦争反対の声、障害  
者とコロナ感染の危機、優性保  
護裁判の国の控訴への闘い、65  
歳問題で裁判を闘う天海訴訟の  
行方をはじめ、全国的な課題と  
地方での要求課題など、今障害  
児者をめぐる情勢は多様で、課  
題が満載。課題が多すぎて取り  
組み切れないとの意見も。障全  
協の地方組織の課題は、地域に  
よってさまざまだが、京障連も  
ご多分に漏れず、なかなか厳し  
い組織状況。障全協の役員体制  
も少し変化して、新たな今年度  
のスタート。先送りできない課  
題ばかりだけれど、できること  
を一步ずつ、それしか方法は残  
されていないことを実感した総  
会。

## 〈暮らしの場を考える〉

「子どもと親のSOSをキャ  
ッチする仕組みを考える」シン  
ポジウム第3回の企画です。  
テーマは「障害のある人たちの  
暮らしの場を考えるー京都市内  
の現状と親の声をふまえて」  
4月24日(日) 13時30分～16時  
ファックスで参加の申し込みを  
お願いします。  
氏名・所属・メールアドレスを  
記して送ってください。  
FAX075-465-4151

\*中西昌哉さん(障がい者地域

共生拠点イマジン統括責任者)  
ショートステイやグループホ  
ームなどの緊急時や高齢化への  
対応について

\*久門 誠さん(重度障害者通  
所介護じゅらく所長)

重度重複障害のある人の暮ら  
しの場の現状や課題について

\*粟津浩一さん(社会福祉法人  
「アイアイハウス」総合施設長)

暮らしの場の選択肢とグルー  
プホームの暮らしの課題につい  
て

\*久保江里子さん(京都市立西  
総合支援学校在校生保護者)

子どもの進路先は、あまりに  
も少ない情報と社会資源の実情  
に向き合って

\*コーディネーター 田中智子  
さん(佛教大学)

ぜひみなさんの参加をお待ち

しています。

## 〈桜と知事選〉

長かった冬が終わり、やっと桜  
の季節と同じ頃、京都府知事選挙  
が始まりました。現職と新人の闘  
い。新人は総評議長の梶川憲さん。  
保健所の再生や中学校の実現を掲  
げ、北陸新幹線の延伸問題、植物  
園を壊す北山エリア計画など、府  
民の生活を壊す課題にNOを突き  
付けることを目指して闘いました  
が、力は及びませんでした。現職  
の候補者を推したのは、自民党、  
公明党、立憲民主党、国民民主党。  
国政では敵対する与党と野党の立  
場でも、地方では事情が違っていると、  
まったく節操のない立場で臨んだ  
知事選こそ、恥ずかしくて府民に  
顔向けできないのではと思うので  
すが、どうもそうではないよう。  
だからこそ、3か月後の7月10日  
は国政選挙で決着をつけたいもの  
です。

池添素(京障連事務局長)

# 相模原事件と優生思想

2016年7月26日、相模原市の障害者施設・津久井やまゆり園で事件は起こりました。入所者ら46人を殺傷したとして殺人罪などに問われている植松聖被告の裁判が、20年1月から横浜地裁で開かれました。起訴状などによると、植松は7月26日未明、園に侵入し、職員を縛ったうえで重度障害の入所者を次々に襲って首を刺すなどしたといえます。植松は、「障害者なんていなくなればいいと思っ

た」などと述べています。裁判所は、2020年3月、死刑の判決を出しました。

## ①許せない蛮行 山上 周一（ジャーナリスト）

事件の背後にある「自己負担」を求める考えは、「役に立つ」「ことを目標に」「社会に迷惑をかける」「存在を前提にしてきまじった。犯行は戦後史を画するような悪質なものです。事件が社会

のありようにかかわり、社会が暴力で破壊されたものです。

「ある社会がその構成員のいくらかの人々を締め出すような場合、それは弱くもろい社会である」（国連国際障害者年行動計画）と思います。

☆

福沢諭吉（1835～1901）は、「人種改良」という論説で、配偶者を「選ぶ法を如何す可きや」と云うは第一に血統であり、「人間の婚姻法を家畜改良法に則り良父母を選択して良児を生ましむるの新工夫ある可し」とし、「先ず第一に強弱雑婚の道を絶ち、其体質の弱くして心の愚かなる者には結婚を禁ずるか又避孕せしめて子孫の繁殖を防ぐと同時に、他の善良なる子孫の中に就ても善の善なる者を精選して結婚を許し、或は其繁殖の速やかならんことを欲すれば一男にして数女に接するは無論、配偶の都合により一

女にて数男を試るも可なり、要は唯所生児の数多くして其心身美ならんことを求むるのみ」と言っています。

福沢の「繁殖の速やかならんことを欲すれば一男にして数女に接するは無論、配偶の都合により一女にて数男を試るも可」

などは、人間の婚姻を「牛馬」の交配とかわらない次元で考える発想ですが、それは、ユダヤ人を劣等視し、アリア人の優秀性を唱え、ナチス親衛隊が設立した「レーベンスポルン」に通じる発想ではないでしょうか。日本では、ナチスの優生学の影響から「国民優生法」（1940年）が制定され、ハンセン病患者をはじめ、47年までの間に538件の断種手術が行われ、「其体質の弱くして心の愚かなる者には結婚を禁ずるか又避孕せしめて子孫の繁殖を防ぐ」という福沢の念願が実現したことがあります。この優生学

的発想は、「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命健康を保護することを目的とする」と第1条で謳う「優生保護法」（48年）に持ちこまれました。

☆

植松死刑囚は「障害者は不幸を引き起こす」「生きる値打ちがない障害者」などと決めつけ、社会からの抹殺、排除を狙い、障害者施設で蛮行に及びました。ここには、「医療」や「いのち」も「商品」として考えが流れていて、例えば特攻死などを「美しい死」とする「思想」があります。「いのちの絶対的価値」をゆがめる考えと言わざるを得ません。僕らは、「美しい死」のためではなく、「納得できる生」を求めてきました。そのため、社会保障・社会福祉充実の道を選んだのです。「役に立つ」「役に立たない」で人を選んではならないのです。

（続く）

# 血の染みついたバトン

中村 暁（医療ジャーナリスト）

⑩うまくいっていないのに

「連名ポスター」

この号の原稿〆切は4月10日。京都府知事選挙の投票日。なので結果を見届けることなく書いている。

2月頃だったか、現職知事の

ポスターを初めて見た。現職男性の顔写真の下には京都府医師連盟会長の写真。なるほどこの時期にこの組み合わせか。府の新型コロナウイルス感染症対策が「うまくいっていますよ」「医療界と連携してがんばっていますよ」とのアピールだろう（京都市内で貼られたのは市長との連名ポスターだったらしい。かえって票が逃げないのか）。

ところが私はこのポスターのことが日に日に不快になってきた。

府のコロナ対策はうまくい

ているなんてまったく思えない。うまくいっているなどと言えば、感染しても医療にもつながることすら出来ずに亡くなつた人たちを冒瀆することになる。

3月24日現在、都道府県別の「人口あたりの新型コロナウイルス死者数の推移」データで京都府はワースト1を独走中だった。同データは「7日間の新規死者数」（人口100万人あたり）の数値で、全国の「新規死者数」が「5・7人」であるのに対し、府は「20・6人」。2位の大阪府は「14・5人」だから、すごく多い。ある新聞報

道は「第6波での府内の死者総数」が3月19日、「297人」になり、「3か月弱で、昨年7

月～12月の第5波の死者数（49人）の6倍に達した」と報じたii。思い出してほしい。「オミクロン株」は重症化しにくいと言われていたはず。実は専門家の見解は今も基本的に変わっておらず「オミクロン株による感染はデルタ株に比べて相対的に入院のリスク、重症化のリスクが低い」iiiとされる。ということとは特別な原因があるはず。死亡リスクの低いはずのオミクロン株でなぜ死亡者数が過去最高を記録するのか。

そこで疑うべきは、感染した時に速やかに医療へのアクセスができていないのではないかということである。京都府は急いで検証せねばならない。本当に今のままの体制で良いのか？

だがそもそも府が公表している「確保病床940床」（4月8日現在）のうち、「臨時的医療施設」である「110床」をまともに活用していないことが明らかに

i 札幌医科大学医学部附属  
フロンティア医学研究所が  
ノム医科学部門  
[https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/japan\\_death.html](https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/japan_death.html)  
ii 読売新聞 2022年3月20日（日）配信  
iii 第77回（令和4年3月23日）新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー

# 人生の伴走者 ④わが道

本紙編集長 井上吉郎

## ・華楊の絵

山口華楊（やまぐち かよ  
う、1899〜1984）は  
う、1899〜1984）は  
う、1899〜1984）は

日本画家。華楊に門外不出の  
作品がある。門外不出なるが  
ゆえに、そしてその絵がブラ  
イベート作品なるがゆえに、  
絵には名前がない。おそらく  
華楊の全作品を網羅した刷り  
物にもないだろう。作品は掛  
け軸になっている。そこで僕  
が勝手に命名、いわく「お雛  
さん」。紙で織られた羽織袴  
姿の大きな男雛（おびな）が  
右に、それよりも小さい十二  
単衣姿の女雛（めびな）が左  
に描かれている。あでやかで  
彩色も鮮やか、1951年、  
初孫の誕生を祝ってこれは描  
かれた。

1950年晩夏、華楊は女

の初孫に恵まれた。近くに住  
んでいた孫娘はよく笑い、よ  
く乳を飲み、良く寝、大量に

排泄した。この孫娘を得た華  
楊の心と筆に変化が生まれ

た。戦中戦後、40歳代の半ば  
から50歳代はじめにかけて、

華楊の作品は寡作で精彩がな  
い。停滞といっても良いだろ

う。然しながら、孫娘の戦後  
日本を生きようとする姿は華

楊の画業にも大きな影響を与  
えた。その第一歩が「お雛さ

ん」だった。

京都市中京区の友禅職人の  
家に生まれた画家の本名は米

次郎、色の鮮やかな花鳥画は  
目を引く。51年に京都日本画

家協会理事長に就任、“新し  
い日本画のモデル”と絶賛さ

れた「黒豹」を54年に発表す

る。中央に黒豹が2匹、向いて

いる方向が違つ。寝転んでいる

豹、悠揚迫らざる姿、優しい目

つき……。近代的な構成を持つ

動物画も完成させた。そんな華

楊が描く「お雛さん」だ。

左右に大きく年月を経た樹々

がある。それは寒さをものとも

せず、東西に延びる樹々に囲ま

れた1本径を、僕は歩く。径は

真つ直ぐ、ぶれることはない。

過去と現在を結び、未来につな

がっている。好悪は別にして、  
過去と現在とはそれとして受け入  
れるしかない。しかしながら、  
未来は違つ。違つからこそ、僕  
らはよりよき未来を求めてもが  
き、苦闘する。径の先にどのよ  
うな未来があるのか、僕らのす  
べてがそこで問われる。

川に沿って、径はある。川のド

ンドンの音が、バックグラウン

ドミュージックであるかのよう

に身体を覆う。山のある北の方

が海に通じる南側よりも高いか

ら、川の水は、北から南に流れ

る。自然の摂理だ。逆らうべか

らず！流れの遅速や方角は調整

可能だが、山から海への流れは

変えられない。

この川の流れが真つ直ぐなる

がゆえに、土手の径も直線、最  
短距離をとって海をめざす。急  
ぐという訳ではないが、寄り道  
をしないでゴールをめざす。い  
く本もの流れが合流し、大河と  
なつて海に流れ込む。径は歩く  
人を選べない。径は「そこ」に  
ある。選ぶのは、僕らだ。どの  
径をたどり、誰とどの径を選択  
するのか。僕らは選ぶことを迫  
られる。「より良き選択」を選  
ぶのは僕。

# ジョニーの炸裂日記4

ライスチヨウジョナ(イラストレーター)

大学生だった頃、映画を観て 題材とした作品だ。

レポートを書くという授業が毎週あった。作品内の技法や表現を分析したものを書かなければいけない。芸術大学なので出される課題の作品は最近のメジャーなものではなく、古い白黒映画やマイナーな作品など。有名なもので言えば、『七人の侍』や『東京物語』、『ゴジラ』、『猿の惑星』や『2001年宇宙の旅』。古い作品や芸術性の高い作品ばかり観せられ、頭が混乱しそうになりながらレポートを書いていた。だが沢山そういう作品を観続けたおかげで、今では古い映画でも楽しく観られるし、人一倍映画好きになった。

障害を題材にした作品は往々にして重い。暗い。まあ確かに、障害のある人の人生は他の人に比べて大変なことや困難な経験に溢れているのは事実かもしれない。それは自分も障害があるのでよくわかる。しかし、少なくとも私はそんな重苦しい雰囲気で充滿した生活を送っているつもりはない。皆が皆同じとは思わないが、やたらしんどい人生を送っている障害者の映画ばかりなのも違和感ありまくる。しかも一番引くのは、ほぼ全てが感動させて泣かせようという魂胆が丸見えだということ。以前「感動ポルノ」という言葉が話題になったが、まさにそれだ。障害者が頑張って困難を乗り越える姿を健常者が感動するための消耗品のように利用するとうような意味だったと思う。外国の作品だとまだマシだが、邦画だと特にそういう作品が多い。

しかしそんな邦画に不満ならたら私でも、障害を題材にした作品の中で唯一映画館に足を運んで観た作品がある。『こんな夜更けにバナナかよ』だ。この作品も案の定、最後は感動っぽくなっちゃったが、全体的にはしっかりとコメディで、障害のイメージを思いっきり崩してきたのが非常に良かった。こういうのが観たかったんだ！

そしてもう一つ。『志乃ちゃん』は自分の名前が言えない」という作品も良かった。こちらは吃音の題材にした作品で、雰囲気としては少し重い空気がある。しかし無理に感動的な方向に持つていかず、綺麗事で締めることなく終わったところに非常に好感が持てる。

まあそんな感じなのだが、ちなみに誤解無きよう言うておくと、重いのがダメということではなく、そういう作品ばかりになっていくことに対する懸念の話である。感じ方は人それぞれで、百人が観て百通りの感想があつて良い。自分の人生と照らし合わせて、シリアスな作品のほうが共感できるという人もいるだろう。どんな作品であっても、どこかの誰かにとつての最高の作品となれば、それでいいのだ。

というわけで、重いやら感動やらにあれこれ文言いながら、自分分は最後ちよつといい感じの文章で締めつつ、今日のところはこ





# つれづれあらぐさ

場面⑳ 山あり谷あり、  
あらぐさ20年目を  
迎える

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」とお話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

研修で一緒になった他法人の大先輩から「中山さんに必要なのは仲間やな、もうちよつと頑張り」と言われたのが、2020年の秋。自分の仕事の意味や支援者としてのあり方に迷いが生じた時期でした。三年目の壁、五年目の壁、十年目の壁と言われますが、自分の場合は何年経っても壁が現れます。

社会人になった時は、環境の大きな変化に慣れるのがやっとでした。それまでの学生生活とは全く違う日々々に右往左往しながら、無我夢中で過ごしました。文字通り「三日坊主」になってしまった就職3日目の記録です。

・名札作りに苦戦。仕事はなるべく早く仕上げる方法が大事。  
・あらぐさ周辺を軽ワゴンで運転。あまりにも不慣れで同乗の先輩職員が驚いていた。

今でも春になると、なんだか落ち着かない当時のふわふわした気持ちを思い出します。ちなみに、その後の運転練習で十人乗りの送迎車を運転できるようになりました。

数年前には、共同作業所で一緒だったご家族から「すぐやめてしまうのかと思っていたけど残られて、みんなやめてしまうので惜しい」「こんなに長く続くとは思っていなかった、みんなすぐやめてしまおうし」と言われたことがあります。当時の自分は気づいていませんでしたが、そんな風を感じながら見守ってくれてはったんやなあと、感慨深く思いました。

なんともならない現実やそれをなんとできない自分に、身動きがと

れなくなってしまうのが2020年の壁だったようです。そんな時に声をかけてもらったのが、冒頭や地域の先輩方でした。「よかったら、ちよつと話しますか?」「人に喋れば、自分の考えも少し整理することができるともしれないし」の言葉に励まされて、一年間を過ごしました。目の前の現実には圧倒されることは多々ありますが、まずは自分がやるべきことに取り組みました。

現れた壁を越えたのか、避けたのか、壊したのか、もしくは消えたのかはまだ分かりませんが、この4月であらぐさ20年目を迎えました。「中山さん、二十年生?」「先輩やな」「次は?」とうきうきしている利用者さんの姿に、新年度の始まりを感じます。支え合える仲間を増やしていくのが、今年度の目標です。

中山 恵美子（あらぐさ福祉会）

# 2+2=詩

## 「問題」

雨の日も晴れの日も走り続ける

手あたり次第、いろんなものを揺らしながら飛ばしながら

びゅうびゅう、ごうごう、ざざざざざ

そんな君はそう、北風小僧

縄張りを見張って鼻をピンと上向けさせるんだ

怪しい奴が近づいたら勇ましく吠えかかるんだ

わんわん、がうがう、ばうわうわう

そんな君はそう、裏の家の犬のコロ

強く明るく笑ってる

元気に無邪気に楽し気に

にこにこくすくす、あっはっは

おひさま笑顔のあなたはだあれ？

## 「雲の行く木」

昨日あんなにあった雲

大小無数の雲の群れ

今日は一つも見当たらない

風に乗って空のどこかに流れてしまった？

雨になって空からどこかに降り注いだ？

それとも雲のまま水のように

空の青に溶けてしまったかしら

黙ってもう一度空を見上げる

どこまでも青い青い雲一つない空だった



## 「空の「機嫌」」

さっきまで降っていたはずの雨が

前ぶりもなく止んだ。

顔を真っ黒に染めて頑固に居座るようだった雲は

白々しい顔をして、

青空のそこかしこに散らばっている

やいやい、今やお荷物でしかないこの傘を

どうしたらいいんだいと、

空を見上げてそう叫んだ。

日傘にすればいいのでは？と

太陽がとぼけた顔をして答える。

雲を追い払った知らんぶりの風が

びゅうびゅう気取った様子で、

気の抜けた僕の肩を叩くように吹き抜けていった。

もう一度空を見上げてみる。

広がる空は

最初から何もなかったように、

青く澄ました様子で街を見下ろしていた。





障害のある人の  
権利を守る 北障連から

濱中博

## 21年度与謝野町

### 要望書 その②

【医療的ケアを必要としている人たちも、生まれた地域で暮らせるように】

4、2021年9月18日より「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施工された点をふまえて、より積極的に実現に向けたお力添えをお願いします。

・この法律は対象が『児』となっていて、基本理念には18歳以降も適切な保健医療・福祉サービスを受けながら生活を営むことができないように配慮して行わなければならないことが謳われています。

また、どこに住んでも適切な支援を受けられるようにする責務は、国、地方公共団体にあるとして、必要な法制上または財政上の措置その他の措置を講じなければならぬといわれています。

さらに補足として、人材の確保について「国及び地方公共団体は、医療的ケア児及びその家族がその居住する地域にかかわらず等しく適切な支援が受けられるよう、医療的ケア児に対する医療的ケアその他の支援を行うことができる人材を確保するため必要な措置を講ずるものとしたこと。」と明記されています。

【安心して毎日の生活を送るための環境整備について】

5、児童と成人では身体状況や活動量が異なるため、事故を防ぐ観点から日中

一時では児童と成人を分けて支援しています。十分な職員配置ができるよう報酬単価を引き上げて下さい。

6、避難所で特別な配慮が必要と思われる児童、成人は最初から福祉避難所に避難できるようにして下さい。

また、福祉避難所として必要な備蓄量や受け入れ人数等と与謝野町職員と施設職員で確認、共有できる場を設定して下さい。

7、職員のコロナ感染により居宅介護事業所が閉鎖となった場合に、利用者の不利益にならないよう他の居宅介護事業所が支援に入れるなどのネットワーク（仕組み）を作ってください。

また、コロナ感染拡大防止等の支援を今後も継続して下さい。

・コロナ対策は事業所にとつては、日々心身ともに気をつかう作業の連続である。町よりPCR検査の補助金、マスク、消毒液等備

品の配布は大変ありがたかった。今後も継続してほしい。

8、虐待防止のために、各機関と連携を密にし、迅速に対応して下さい。

9、地域サポート事業の補助（無料）の上限時間を現在の利用時間180時間から以前の300時間に戻して下さい。制度を変更する場合は事前に関係者に対して丁寧な説明をして下さい。

10、いろいろな福祉制度の利用の仕方がわかりにくいので定期的に説明の場を持って下さい。



2021年度の要望書懇談会

# 365歩のマーチ



## 25 わんぱくもいもんだ

4月から2歳児クラス、念願のなへら組に進級しました。2月ころからなにかとめめいじいじいゆいゆいとおいちゃん「と連発して、」すいすいなぞ知っての。「いも」「ゆいちゃん、おいちやんだからい。」と誇り気でした。朝、保育園に送りに行ったとき、「おせいじい」「いじい」「自分のイヌを示しながら」「いご食べてねん」とまだ新しい部屋のことをなにも知らない父に対してうわしそくに教えてくれました。担任の先生もかわって、じいじい毎日だと思えますが、1つ大きくなったらなへらなぞで、毎日を満喫してほしいです。

\*

家族で投票に行った後、母親は

用事のためにお別れして、久しぶりにゆいちゃんをゆいちゃんぽいに出かけました。口頃はせかせかと生活しているの、今日はゆいちゃんの選ぶ方へ、急かさず、いらいらせず…を心掛けました。公園を歩いていると、ちやうちよがひらひら飛んでいます。「ちやうちよつかまえたい」と言っていて追いかけるゆいちゃんですが、捕まえられないわけがありません。路地の裏の方へ行くとちやうちよを見送りながら「ちやうちよはすべにげるんだ」とほつり。その背中にはなんだかみそつてました。しばらく行くと、「あ、ねんいよ」猫を発見。近くに行くと逃げぬ猫。しばらくたつとつぎ返した後、寝をぐって車の下に隠れた猫を観察していました。

「ねいちゃん、わらったで。「。子どもならではの感性です。「きょうはこっちいかん」と分かれ道を自分で道を選び、消防出張所のあるほうへ歩を進めます。いつもはシャッターが閉まっているのですが、今日は整備のため、シャッターが開いていて、消防車と救急車を間近で見ることができました。「ドアがしまるとこないなあ、どこやろ、どこやろ」と言いながら救急車の周りをうろつろ。結局「ないわ」とあきらめていましたが、いったい何を探していたのでしようか。しばらく観察したのもう満足かな?と思いが、「そろそろ行こっか」と誘いますが「まだ!」。今日はがまんがまん…と思いがらいつになんたら満足するかな…と見ていると、救急車を整備していたお姉さんが手を振ってくれました。ゆいちゃんもつれそつに手を振り返すと、」

「えー、しまってたあ…」と残念そうな表情。こんな時、父の頭には、子どもの頃に出かけたとき、わがママを言ったその思いを受けとめてもらった時の親の表情や雰囲気がつっしゅバックのようによび返ります。子育てを通して、ときどき自分の原風景に出会います。ゆいちゃんをそばにしていると、いろんな人がしゃべりかけてくれたり、普段気にならなかったものや感情に出会うことができて、たまにはのんびりとおいもいもんだ、とゆいちゃんに教えてもらいました。

安藤 史郎(あかひつひらの園)

# 知っ得情報

## 補装具基準を超えて至急可能な特例補装具

代表委員 松本 美津男

補装具は原則として種類別に型式や基準額が定められていますが、その基準に収まらないものでも必要性が認められれば費用の支給が認められる特例補装具というものがあります

少し古いものですが「特例補装具・判定困難事例集」では、次のようなものが認められています。

- 工作上、必要と認められた手動立位機構付き車いす
- 住環境の制約から認められた6輪車いす
- 身体機能と生活環境から認められたストレッチャー仕様の電動車いす
- 製作者との連携で安全な操作方法が確立した電動車いす（特殊ジョイスティック・液晶モニター入力装置）

特例補装具として認めてもらうのはそう簡単ではありませんが、もし窓口で基準にないと言われても、必要性が高ければ特例補装具として認めてもらうように要望しましょう。

### 〈問い合わせ先〉

居住する自治体の障害者福祉担当課



## あなたもぜひ 仲間に

サロン・サークル・地域活動展開中  
生活支援スタッフ(資格不要)募集中  
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう  
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に

京都市北区紫野東野町1-5  
電話075-432-3636

## 命の平等をかけた、 無差別平等の医療と 福祉の実現をめざす

### 働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



## 京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: [info@kyoto-min-iren.org](mailto:info@kyoto-min-iren.org)

ありがとうございます

寄付 安藤史郎 (敬称略 2022. 4. 10)

## 2020年からのコロナ禍に学んだこと

大西里江 (京障連代表委員)

今年の初めから、コロナ感染第六波では感染の話があちこちで。感染の足音が聞こえて来そうな身近な状況になる。障がいがあって、グループホームや入所している家族がいて、そこがクラスターになったらと、不安で過ごす。障がいがあり、持病もあると、重症化しないか？さらに不安は増す。

家族なのに、会うことが許されない、このコロナ渦。入所している家族は、今はリモート面会。AIに慣れてない家族にとって、リモート面会は、画面に映る私が不思議なようで、声で反応するが、すぐに疲れて眠ってしまう。リモート面会10分でも、私にとっては顔が見られる唯一の貴重な時間。でも、家族にとってはどうなんだろうか？在宅で感染という事態で、家族で感染。入所しても在宅でもコロナ感染による不安消えない。子ども、高齢者、障がい者等、社会的弱者と言われる方が一番大変な思いで、コロナの社会で、生きている。

コロナ禍の中でさらに、先月から戦争。ミサイル投下している町から避難することも出来ないで取り残されて、日々怯えながら、生きている。どんな状況でも、生きていく。生きていたら、会いたい人に会える、行きたい所に行ける、

コロナ渦が長くなって、やりたいことを我慢するのではなくて、出来る方法を考える。初めから諦めるのではなくて、何とか出来ないか？それぞれの家庭でも工夫されて、少しでも良い選択をされるようになったと思う。家族過ごす時間の中で、家庭、家族の意義を考える。

医療、福祉、そして学校。一番しっかりした地盤であるべき所が、崩れていくと、補える力がないと共に崩れてしまう。家庭、家族の代わりはない！どうしても無理な時にSOSを、言えることが命を守ること。共倒れしないような生活環境を整える。

何でも一人で抱え込まない！ヘルプは恥ずかしいことではないし、誰も責めない。頑張ってもどうする事も出来ないことに気付いて、どうする事も出来ないなら、頑張ることより、今出来ることだけで良い。いつか良い時は来る。今は、ただ、命を守ることでいい。

コロナでも戦争でも命を守るだけの選択だけでいい。人間の脆さ、愚かさ、一つのウィルスで世界中が急変し、一つの国の侵略で世界中が悲しむ。平和に暮らしていけるように、今は、気持ち、心だけは落ち着かせるように、今日も生きていることに感謝し、動けることが幸せだと思っている。この2年で多くの事に気付いて、生きている意味や自分の出来る事、人間関係、そして将来。いつか必ず、一緒に花見が出来ると信じている。その日まで、メゲナイで自分を大切に生きていく。そして、コロナ禍が落ち着いた時に、自分のまわりや心に変化があると、思っている。過去には、戻れない！一番若い今日の私は、過去より未来を見つめたい。

今年も桜が満開🌸毎春必ず咲き、その美しさ、儚さに魅了される。枝だけの時はジーンと寒さに耐えている。少し暖かくなると、蕾膨らむ。そして、パーと咲いて、サッと散る。一年で桜が満開の時は、何日あるのだろうか？人も同じ。辛いことが多いけれど、嬉しい楽しい時があるから、耐えていける。いつか！必ずと信じて、桜を見る。

また、来年も宜しくね！